

選 択 問 題 紙

経済学部 1・2 部

経営学部 1・2 部（経営学科）

2023 年 2 月 10 日

10:00 ～ 11:00（60分）

注 意 事 項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史 B	2 ～ 9	水 色
世 界 史 B	10 ～ 15	緑 色
地 理 B	16 ～ 26	紫 色
政 治・経 済	28 ～ 34	桃 色
数学（経済学部 1 部・経営学部 1 部）	36 ～ 40	黄 色
数学（経済学部 2 部・経営学部 2 部）	36 ～ 38	灰 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
試験終了まで退室してはいけない。
5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —

6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

1 部受験者は問題 **1**，**2** が必須で、問題 **3**，**4**，**5** については、これらの中から 1 問を選択し、解答用紙の ☐ の中に選択した問題の番号を記入すること。

2 部受験者は問題 **1**，**2**，**3** の全問が必須である。

日本史 B

1

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

10世紀初頭になると、律令体制はいよいよきづまり、地方政治のあり様も大きく変化¹していった。そのような時代に有力な武士となるものが現れ、また、いくつか大きな武士団へと成長するものもでてきた。地方の武士には、もともとは押領使や²()として地方で起こった紛争の鎮圧に向かい、そのまま現地に留まっていたものから転じたものがいた。彼らは、家子や郎党などを従え、各地で紛争を起こしたり、国司に反抗するものまでいた。

有力な武士団としては、二つのものが特筆される。桓武平氏と清和源氏である。桓武平氏は、桓武天皇³の子孫で平姓を受けた氏族のことであり、そのうちの高望王の流れは特に武家として有名になった。この高望王の孫である平将門は、一族の紛争を契機に、「平将門の乱」⁴と呼ばれる内乱を起こすまでになり、関東の治安を大いに乱した。将門は、従兄弟の平貞盛や藤原秀郷らに討たれることとなったが、その後、貞盛の玄孫からの三代（正盛、忠盛、清盛）は、中央の院政政権⁵との結びつきを強め、大いに権勢をふるった。

対して、清和源氏は、清和天皇の孫である経基王が源姓を受けたことに始まる氏族とされる。経基王（源経基）の子である源満仲は摂津に館を構え、武士団を形成していった。満仲の長男である源頼光は、武芸に優れていたとされ、頼光と頼光四天王と呼ばれる四人の部下の武勇伝は、⁶『()』をはじめとした多くの説話集や御伽草子などで語られ、現代においても物語や劇等の題材として大いに楽しまれている。なお、満仲の三男である源頼信は、⁷()を平定し、源氏の東国進出のきっかけをつくったことでも知られるが、その子と孫である源頼義と源義家⁸、そしてその子孫である源義朝、源頼朝や源義経などへと続く、清和源氏のうちの河内源氏の祖であり、この河内源氏の流れにより、鎌倉幕府⁹による統治がなされることとなった。

- 問1 公田の耕作を請け負い、受領などに対し納税の責任を負うようになった有力農民のことを何というか、2字で答えなさい。
- 問2 空欄に入る、10世紀以降に諸国の盗賊や叛徒を平定するためにおかれた令外官の名称を3字で答えなさい。
- 問3 桓武天皇により征夷大將軍に任じられ、802年に蝦夷の族長阿弭流為を帰順させ、鎮守府を胆沢城に移した人物は誰か、答えなさい。
- 問4 この乱と同時期に、瀬戸内海の子賊を率いて反乱を起こし、伊予の国府や大宰府を攻め落とすなどした、もと伊予の国司であった人物は誰か、答えなさい。
- 問5 院政を行なう上皇の側近として権勢をふるった、上皇の後妃・乳母の一族や富裕な受領出身者などからなる一団を何というか、答えなさい。

問6 空欄に入る，日本・インド・中国の説話を和漢混淆文で記した，31巻からなる平安末期の説話集を何
 というか，答えなさい。

問7 空欄に入る，源頼信によって鎮圧され，源氏の東国進出のきっかけとなった反乱として最も適切なもの
 を下から選び，記号で答えなさい。

- ア．平治の乱 イ．倶利伽羅峠の戦い ウ．平忠常の乱
 エ．治承・寿永の乱 オ．承久の乱

問8 陸奥北部で強大な勢力を誇っていた安倍氏を，源頼義と源義家が出羽の豪族清原氏の助けを得て滅ぼ
 した出来事を何というか，最も適切なものを下から選び，記号で答えなさい。

- ア．前九年合戦 イ．後三年合戦 ウ．保元の乱 エ．鹿ヶ谷の陰謀 オ．天慶の乱

問9 鎌倉幕府を開いた人物の妻で，尼將軍と呼ばれた人物は誰か，答えなさい。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、問9を除き、下線部と問の番号は対応している。

Aは、岡崎城主松平広忠の嫡男として1542年に生まれた。Aは、6歳で織田家の人質となり、その後人質交換により今川家の人質となるが、¹桶狭間の戦いで今川氏が敗れたことを機に岡崎城への帰還を果たした。

その後、家臣団を二分した一向一揆に苦しめられつつも²三河を平定したAは、三河守に叙された。また、この頃より、Aは織田信長との同盟を深化させていった。信長との関係は長く続き、³浅井氏・朝倉氏との戦いや武田氏との戦いを共にする。本能寺の変が起こった際にはその弔い合戦を決意し、出兵したものの、山崎の戦いで羽柴秀吉（豊臣秀吉）が勝利した報を受け、浜松へ帰還した。

信長の後継者の地位を確立したのは山崎の戦い・賤ヶ岳の戦いに勝利した秀吉であった。織田信雄の誘いを受けて秀吉と戦ったAであったが、信雄と秀吉の講和を機に和議に応じた。その後、秀吉とAの関係は、最終的にAが大坂城で秀吉に対し臣従の礼を示すことで決着した。秀吉とともに⁴後北条氏を滅亡させたAは、秀吉によりその旧領を与えられ、江戸へ移った。

秀吉の死後、五大老の筆頭であるAと⁵五奉行の一人である石田三成との確執が表面化し、関ヶ原の戦いが起きた。これに勝利したAは西軍諸大名を処分するとともに、全大名に対する指揮権の正統性を得るため征夷大将軍の宣下を受け、江戸に幕府を開いた。1605年、Aは、将軍職が世襲であることを示すため、将軍職を辞すとともに⁶息子に将軍宣下を受けさせたが、その後も大御所として影響力を維持し続けた。

一方、Aは、豊臣家に対して、様々な口実をつけて戦いを仕掛け、⁷1615年に同家を攻め滅ぼした。

大御所として権勢を維持し続けたAであったが、1616年に発病し、同年に死去した。死後、Aは朝廷から神号東照大権現を得るとともに、⁸東照宮に祀られた。

問1 桶狭間の戦いで敗死した今川家の大名の名を何というか、答えなさい。

問2 三河は現在のどの地にあたるか、最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 神奈川県 イ. 静岡県 ウ. 愛知県 エ. 岐阜県 オ. 左記に正解はない

問3 織田信長とAが浅井氏・朝倉氏に勝利した戦いの名を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 姉川の戦い イ. 川中島の戦い ウ. 天目山の戦い
エ. 三方ヶ原の戦い オ. ア～エに正解はない

問4 後北条氏の祖であり、堀越公方を滅ぼして、伊豆、相模に進出した人物を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 北条早雲 イ. 北条氏政 ウ. 北条氏康 エ. 北条氏綱 オ. 北条守時

問5 五奉行に含まれない人物を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 浅野長政 イ. 増田長盛 ウ. 小早川隆景 エ. 前田玄以 オ. 長束正家

問 6 この人物の将軍在位中に行われた施策として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 一国一城令発布
- イ. 武家諸法度制定
- ウ. 参勤交代の義務化
- エ. 禁中並公家諸法度制定
- オ. 欧州船の寄港地制限

問 7 Aが豊臣家を攻め滅ぼした戦いの名を答えなさい。

問 8 Aが祀られた日光東照宮の現在の所在地を以下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 茨城県 イ. 栃木県 ウ. 群馬県 エ. 埼玉県 オ. 左記に正解はない

問 9 Aに当てはまる人物の名を答えなさい。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

19世紀後半から20世紀前半にかけての日本では、国境にも、その国境をまたいで行き来する人の流れにも、ダイナミックな変化が生じた。

長年にわたる鎖国政策が転換されたのちも、日本人の海外渡航は最幕末まで全面的には解禁されなかった。しかし全面解禁前にも、条約の批准書交換¹や留学のため、幕府や諸藩から複数の日本人が欧米に渡った。その後の日本は幕府の倒壊と新政府の樹立を経て、幕末までは必ずしも日本の一部ではなかった土地を領土化²しつつ、国境を画定させていく。その一方で、画定された国境の外側へと移民し、新天地に機会を求める人々も増えはじめた。

その後の日本は、対外戦争³を通じて領土をさらに拡大させ、植民地をそなえた帝国となっていった。植民地へは多数の日本人が渡ったが、同時に植民地から日本への移民⁴の流れも生じた。これと並行して中国大陸では、日本をふくめた列強による利権獲得や経済進出が進み、関東軍のような陸軍部隊の駐屯⁵や、日本企業の活動のために、大陸に渡る日本人が増えていった。1930年代に入って、中国東北部で関東軍が建国を宣言させた（ ）⁶を日本政府が承認すると、同地への農業移民が激増した。さらに日中戦争が始まると、中国大陸に日本軍兵士が続々渡った。

1941年の太平洋戦争⁷開始後、植民地・占領地をふくめた帝国日本の外縁は一挙に拡大し、日本軍兵士も太平洋・東南アジア地域に広く展開したが、アメリカ軍が反攻に転じるとその外縁は動揺しはじめた。そして、1945年にポツダム宣言⁸を日本が受諾したとき、宣言にもとづいて一気に収縮した国境の外には、本土への引揚げ⁹を目指す大量の日本人が残されたのであった。

問1 咸臨丸による太平洋横断は、ある条約の批准書交換を目的としていた。この条約の名称を答えなさい。

問2 この一環として1879年、日本政府はある土地において藩と王国を廃止し、県を設置する廃藩置県を実施した。この施策を4字で答えなさい。

問3 日本が台湾を植民地化する契機となった、対外戦争の名称を答えなさい。

問4 その代表例は朝鮮半島からの移民であった。その植民地化および植民地支配について、適切な記述を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 韓国併合は、日露戦争によって日本が宗主権を獲得したことで断行された。

イ. 日本は朝鮮半島の38度線以南を植民地化した。

ウ. 朝鮮総督は当初文官に限られたが、義兵闘争の高まりを受けて現役軍人へと変更された。

エ. 土地調査事業によって接収された半島内の山林・農地の一部は、日本企業や日本人に払い下げられた。

問 5 関東軍が駐屯した租借地の所在地を以下から選び、記号で答えなさい。

ア. 旅順 イ. 上海 ウ. 長春 エ. 天津

問 6 空欄にあてはまる語句を3字で答えなさい。

問 7 開戦後、日本が軍政下に置かなかった地域を下から選び、記号で答えなさい。

ア. フィリピン イ. ビルマ ウ. タイ エ. シンガポール

問 8 ポツダム宣言による日本の占領後、アメリカとソ連がそれぞれ軍政下に置いた地域の組み合わせとして適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

	アメリカの軍政	ソ連の軍政
ア	朝鮮半島北部	朝鮮半島南部
イ	台湾	千島列島
ウ	小笠原諸島	南樺太
エ	琉球諸島	遼東半島

問 9 引揚げの過程で親と別れて中国大陆に取り残され、同地で育つこととなった日本人の子供のことを何と呼ぶか。6字で答えなさい。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

日本は¹ポツダム宣言にもとづいて連合国に占領されることとなった。当初の占領方針は、非軍事化・民主化を通じて、日本がふたたびアメリカや東アジア地域の脅威となることを防ぐことにおかれた。²日本占領にあつた GHQ は、1945年10月に³治安維持法や特別高等警察の廃止、共産党員はじめ政治犯の即時釈放を指令し、この方針と対立した⁴内閣は総辞職した。かわって組閣した⁵幣原喜重郎に対し、最高司令官のマッカーサーは⁶婦人参政権の付与、⁷労働組合の結成奨励、教育制度の自由主義的改革、秘密警察などの廃止、経済機構の民主化からなる、いわゆる五大改革を指示した。

経済機構の民主化について、GHQ は、日本の財閥が軍国主義の温床となったと考え、占領後すぐにその解体に着手した。すなわち⁸15財閥の資産の凍結・解体が指令され、⁹財閥の持株会社や財閥家族などが所有する株式の譲渡を受けて一般への販売が行われ、株式所有による財閥の傘下企業支配の解体をはかった。

問 1 これに関する文のうち誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. ドイツのベルリン郊外のポツダムで開かれたポツダム会談で決定された。
- イ. 日本軍への無条件降伏勧告に加え、日本の戦後処理方針が示された。
- ウ. アメリカ・イギリス・ソ連の3交戦国の名で発表された。
- エ. 日本政府は1945年8月14日にこの宣言の受諾を連合国側に通告した。

問 2 GHQ による占領統治について述べた文のうち、誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本政府の機能は停止され、事実上米軍単独の軍政のもとにおかれた。
- イ. 連合国による対日占領政策決定の機関として極東委員会がおかれた。
- ウ. 東京に最高司令官の諮問機関として対日理事会が設置された。
- エ. 占領軍の日本政府に対する要求は、法律の制定を待たずに勅令で実施可能であった。

問 3 これは一般に何と呼ばれるか、4字で答えなさい。

問 4 この内閣を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 小磯国昭内閣 イ. 鈴木貫太郎内閣 ウ. 東久邇宮稔彦内閣 エ. 片山哲内閣

問 5 この人物は戦前期、外相としていわゆる幣原外交を展開した。彼が外相として1925年にソ連と締結した条約名を答えなさい。

問 6 これに関連して、1946年4月の戦後初の総選挙で女性議員が誕生した。このときの女性議員の数を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 29人 イ. 39人 ウ. 49人 エ. 59人

- 問 7 当初，労働運動を推奨していた GHQ はのちに方針を転換し，1948年には官公庁労働者のストライキの禁止が打ち出された。この際出された政令の名称を答えなさい。
- 問 8 15財閥としてあげられた財閥のうち，日産・日窒は，1930年代自動車工業や化学工業分野などを中心に急速に発展し，軍と結びついて植民地へも進出していった。このような財閥は一般に何と呼ばれるか，答えなさい。
- 問 9 この業務を行うために1946年に設けられた組織の名称を答えなさい。